

## 第 1 回警察署協議会の開催状況

開 催 日	令和 4 年 5 月 9 日 (月) 午後 3 時 3 0 分～
開 催 場 所	福井南警察署 3 階 武道場
出 席 者	協議会委員 7 人 福井南警察署 署長以下 9 人
会 議 概 要	<div style="text-align: center;">  </div> <p>1 協議会会長挨拶</p> <p>2 警察署長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 管内の治安情勢と本年の取組事項</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 福井南警察署の組織</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 主な治安情勢</p> <p style="padding-left: 2em;">ウ 課題と今後の取組</p> <p>(2) 質疑、応答 (委員)</p> <p style="padding-left: 2em;">過去には、駐在所や交番と地元の駐・交番連絡協議会や防犯隊等の方々、合同で自主パトロール活動を実施していた。しかし、昨今のコロナ禍の中では、防犯パトロールについても密を避けるため「小集団」で実施せざるを得ないのが実情である。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、駐在所や交番勤務員と駐・交番連絡協議会等の会員が、顔を合わせる機会も少ない状況にある。警察と関係団体との関係</p>

づくりを構築することが、自主防犯活動を活性化させるために重要であると考えてるので、駐在所や交番の方々には可能な限り地域の自主防犯活動に参加していただきたい。

(警察)

今後は、各種会合に署員を出席させ、関係団体との良好な関係の構築に努め、自主防犯活動を活性化させたい。

(委員)

各学校に対して、SNS利用の犯罪を防止する出前型講座を実施していたと聞いているが、現在も実施しているのか。

(警察)

学校からの要望があれば実施している。

SNS利用の犯罪防止講座では、教育委員会と警察がそれぞれで行っており、警察でも引き続き出前型講座を実施している。

SNSに係る犯罪防止対策は、県警全体として取り組んでいる。福井市は、福井警察署と福井南警察署の2署に管内が分かれているので、二つの警察署でそれぞれ調整して実施している。

(委員)

安全運転教育車両を利用した安全教室を受講した高齢者からは「反射機能の低下が理解できた。」と答えるなど、非常に効果があると感じた。

地区の自治会等でもこの車両を利用した安全教室をお願いしたいが、本年度も申し込めるのか。

(警察)

ゲーム感覚で反射機能の診断ができるこの車両は、非常に人気がある。大型連休中における当署管内のイベントにおいても、当該車両が展示され非常に好評であった。安全教室等で利用を希望するのであれば日程調整が必要となるので、早めに連絡願いたい。

(委員)

今後、コロナの蔓延状況がどのようになるのかわからないが、大型連休中を見ると車の交通量等がかなり増えてきた。

鷹巣地区には海水浴場があり、昨年同様、夏季は多くの人出が見込まれる。昨年は、警察の方に重点パトロールをお願いしたところ、積極的に実施していただいたが本年もお願いしたい。

(警察)

昨年は、週末を中心にパトロールを強化したが、本年も引き続き実施したい。

(委員)

スムーズ横断歩道の効果について、この横断歩道が設置された道路は抜け道となっており、朝の通学時間帯には多くの車両が通行し、通学する児童も不安を覚えていたが、設置後は横断歩道が非常に目立つため、車両も減速して通過するなど、効果が大きいと感じている。

また、最近では、利用する子どもも、この横断歩道まで戻って横断する姿が見られ、地元としては感謝している。

高齢者に対する各種講習について、各種犯罪・事故防止の講習には、福井・福井南警察署の交通課員等の話とチラシが非常に好評である。高齢者の方は自分の事にとらえ、講習が終わった後も講習内容について話し合っている。

今後も、引き続き、実のある講習をお願いしたい。

お昼のスポーツジムの利用者は高齢者が多い。そこで、特殊詐欺や交通事故に関するポスターをジムに掲示することも一つの方法として考えてもらいたい。

(警察)

ジムへのポスター掲示等は、早急に取り組みを行っていく。

(委員)

スムーズ横断歩道については、非常に効果があるとのことだが、今後の設置予定はどうなっているのか。

(警察)

スムーズ横断歩道は、実験的手段として設置しており、県内では当署管内に設置された1か所のみである。

今後、県警として効果を検証して行く。

(委員)

最近、横断歩道に歩行者がいると停止する車両が非常に増加しているように思える。警察の取締り効果が目に見える形で出てきたと感じている。

先般のニュースで「手を挙げて横断歩道を渡る事」について報じられていたが、手を挙げることでドライバーに歩行者がいることが理解でき、効果があると考えている。

警察が特殊詐欺の被害防止に向けて各種対策を講じていることは、平素からの活動や新聞記事等で理解しているが、なかなか減っていないように思える。

特に、固定電話を利用した詐欺事案等が増えているようなので、積極的な対応をお願いしたい。

(署長)

現在、横断歩道の安全確保として、交通取締りと合わせて「横断アクション・ペコリン運動」も展開中である。これらは、ドラ

イバーや歩行者が相互に注意喚起等を促すうえで非常に重要だと考えている。

特殊詐欺の固定電話対策については、先般も当署の地域警察官が住民のお宅を訪問して防犯指導している模様がテレビのニュースで放映されたが、このような活動を継続して実施していく。